

あがつま



『わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。

わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。』

(ヨハネによる福音書 15章5節)

♪ 讃美歌を歌おう②⑦
『ああうれし、わが身も』

讃美歌 529番

盲目の讃美歌詩人ファニー・クロスビー (1820-1915) の代表作の一つです。彼女はニューヨーク州に生まれ、生後六週間で失明します。彼女は8歳のときに最初の詩を作り、23歳で最初の詩集を出版しますが、回心後は讃美歌の創作に尽力し、生涯六千曲以上の讃美歌を残したとも言われています。一時は週に三編づつの歌をつくる契約を出版社と結んだこともあるそうです。讃美歌(54年版)にも彼女の讃美歌は多く採用されており、489番「ぎよき岸辺に」、493番「つみのふちにおちいりて」、524番「われにこよと主はいま」、525番「アイエスキミ、アイエスキミ」なども彼女の作詞です。彼女は盲学院を卒業後、教

師として同学院に残り、英語と歴史を教えました。メソジスト教会にて洗礼を受け、一八五八年には同僚の音楽教師で、盲目の音楽家アレクサンダー・ヴァン・アルスタインと結婚しています。

作詞者ファニー・クロスビーの思い出話によれば、彼女の友人で作曲家及び歌手として知られていたフィービー・ナップ夫人が、一八七三年のある日、一つの曲を作った。これに合った歌詞を書いてほしい」といって曲を奏でると、その曲の美しさに感動し、

"Blessed assurance; Jesus is mine."

祝福の確信 「主はわたしのもの」()との感想を語りました。やがて出来上がったのがこの讃美歌だそうです。詩よりも曲が先にできたためずらしい讃美歌です。

稲垣真実